

令和4年度南砺市農業再生協議会 通常総会 議事録

1 総会の種類 通常総会

2 開催の日時 令和4年6月27日(月) 午後2時から午後3時30分まで

3 開催の場所 南砺市役所 別館 3階 大ホール

4 出席会員について

(1) 会員数 11名

(2) 出席会員 8名

氏名	職名	氏名	職名
岩佐 崇	南砺市ブランド戦略部長 南砺市担い手育成総合支援協議会長	前川 十一	南砺市農業委員会長
上田 憲仁	なんと農業協同組合 代表理事組合長 なんと地域水田農業推進協議会長	幅田 浩司	福光農業協同組合 代表理事組合長 福光水田農業推進協議会長
山田 朝夫	農業法人代表 (農) サカタニ農産代表理事)	中山 繁實	富山県農業共済組合理事
定司 俊憲	土地改良区代表 (南砺市土地改良区理事長)	高野 清繁	山間地域農業組織代表 (公財) 五箇山農業公社理事長)

(3) 委任状 1名

氏名	職名
佐野日出勇	となみ野農業協同組合 代表理事組合長 となみ野地域水田農業推進協議会長

(4) 欠席 2名

氏名	職名	氏名	職名
梅基 保	南砺市農業者会長	松本 孝雄	集落営農組織代表 (福光協業組織協議会長)

(5) 助言者 2名

氏名	職名	氏名	職名
佐藤 京子 (代 吉谷伸一)	北陸農政局富山県拠点 地方参事官 (同 総括農政推進官)	松本 浩二	富山県砺波農林振興センター次長

(6) 事務局

前山 浩 南砺市農業再生協議会幹事長 (南砺市ブランド戦略部農政課長)

谷口 繁慶 南砺市農業再生協議会事務局長 (南砺市ブランド戦略部農政課農政係長)

松田亜希子 南砺市農業再生協議会事務局 (南砺市ブランド戦略部農政課農政係)

5 通常総会次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人の選任
- (5) 議事
議案第1号 役員変更について
議案第2号 令和3年度事業報告及び収支決算について
議案第3号 令和4年度事業計画及び収支予算について
議案第4号 規約の一部改正について
- (6) その他
- (7) 閉会

6 審議経過

- (1) 開会
午後2時、前山幹事長から令和4年度南砺市農業再生協議会の通常総会の開会が宣言された。
- (2) 挨拶 岩佐会長
本日は、お忙しいところご出席をいただき、誠にありがとうございます。
さて、農業を取り巻く環境は、厳しくなっておりますが、市独自の緊急支援事業を実施し、農家を支援していきたいと考えています。
本日は、役員の変更、令和3年度の事業報告・決算、そして令和4年度の事業計画・予算についての議案を提出しておりますので、何とぞ慎重にご審議をいただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。
本日は、どうぞよろしくお願いいたします。
- (3) 議長選出
前山幹事長から会員11名のうち本人出席8名、委任状提出1名、欠席2名であり、出席が会員の過半数を超えており、南砺市農業再生協議会規約第15条第1項により本総会が成立する旨報告された。続いて、総会の議長については、本規約第13条第2項に総会の出席会員の中から選出するとあるが、慣例では、会長が議長を務めているので、本総会も岩佐会長を議長とする旨諮ったところ、全会一致で承認され、岩佐会長を議長として選出した。議長から議事の円滑な進行への協力をお願いする旨挨拶があり、その後、議事録署名人の選任に入った。
- (4) 議事録署名人の選任
議長から本会の議事録署名人として、上田憲仁氏及び山田朝夫氏の両氏を指名し、出席者の了解を得た後、議案の審議に入った。
- (5) 議事
【議案第1号 役員の変更について】
議長が議案第1号を上程し、事務局から役員変更についての説明がされた。

その後質疑に入ったが、質疑はなく議案第1号は全員の拍手をもって承認可決された。

【議案第2号 令和3年度事業報告及び収支決算について】

議長が議案第2号を上程し、事務局から令和3年度事業報告及び収支決算についての説明がされた。

議長から質疑に入る前に監査報告を求め、高野監事から令和4年6月22日に監査を実施し、適正であると認めた旨報告された。

その後質疑に入ったが、質疑はなく議案第2号は全員の拍手をもって承認可決された。

【議案第3号 令和4年度事業計画及び収支予算について】

議長が議案第3号を上程し、事務局から令和4年度事業計画及び収支予算についての説明がされた。

その後質疑に入ったが、質疑はなく議案第3号は全員の拍手をもって承認可決された。

【議案第4号 規約の一部改正について】

議長が議案第4号を上程し、事務局から規約の一部改正についての説明がされた。

その後審議に入ったが、質疑はなく議案第4号は全員の拍手をもって承認可決された。

(6) その他

議長から助言者である北陸農政局富山県拠点へ農業情勢と資料についての説明を依頼し、吉谷総括農政推進官から原油価格・物価高騰等総合緊急対策事業、米の需給見通し、民間在庫の状況や米価の低下等、米をめぐる状況について説明がされた。また、本省主催の資材・原材料高騰下における地方説明会が7月13日に北陸農政局で開催される旨説明された。

次に、議長から同じく助言者である富山県砺波農林振興センターへ農業情勢についての説明を依頼し、松本次長から水稻、大麦及び大豆の生育状況が概ね良好であること、カメムシの多発や農作業事故の懸念事項等説明がされた。また、県では農家を支援するため、6月補正で肥料の高騰対策（緑肥の助成）を用意したことが報告された。

議長から出席の各団体へ意見や連絡等を求めた。

A会員から北陸農政局へ、国が食糧安全保障の中で遊休農地を活用するといっているとの質問に対し、北陸農政局から少しでも取り組んでいく、何かあれば相談いただきたいとの回答があった。

B会員から、コメの需要が減っている要因について選択枝の増加や人口減少に対し世帯数は増加、女性の社会進出など様々な面から対策を取るよう意見があった。

C会員から、ナラシ対策について収入面だけでなく経費の面も含めた対策とならないか、また、消費税インボイスについて今の制度のまま導入されると営農組織の負担が増えるのではないかとの懸念があるとの意見がなされた。

D会員から、南砺市では収入保険の支援措置をしていただき、加入数が増加したこと、令和3年度の支払実績について報告された。

E会員から、2月に5つの土地改良区が合併し、地区面積7,200ha、県下最大の土地改良区となった。担い手確保が厳しい中、基盤整備の推進が大きな柱であり、農家からの要望が大きいこと、高収益作物の作付や集積率を上げるなどの条件がある旨説明された。

F会員から、コストが増加し米価が下がる中やっていけるのか。機械の更新時に何割かの補助事

業があればとの要望があった。また、地域の標準小作料が大きく下がったことで地主にも迷惑がかかる。

G会員から、山間地は高齢化が進み、田んぼができない個人の方が増加していること、農業従事者はほとんどが70代であること、限界集落の増加に伴い荒地になり鳥獣害があり老朽化した水路を直すこともできないなど、現状が報告された。

議長は、全ての議事が終了したので、議事の進行に対する謝辞を述べ、降壇した。

(7) 閉会

午後3時30分、前山幹事長から令和4年度南砺市農業再生協議会の通常総会の閉会が宣言された。